

SDGsを基本にした企業の社会活動が世に浸透してきており、森林組合もその流れに沿った活動を2021年度より始めました。20の重要課題を掲げ、環境に配慮しながら事業活動を進めていくにはどうしたら良いか、月に一度メンバーで話し合っています。

最近の具体的な活動では、職員の健康に着目したオフィス環境の改善です。デスクの間や、空いたスペースに観葉植物を置き、それを私たちはグリーン化と呼び組合内外に推奨しています。デスクワークの多い同僚からはふとした時に心が癒されるとの感想が聞け、また緑色は目に負担の少ない色であるため、心身ともにリラックスした状態で仕事に向かえと感えています。他にも、ゴミの分別方法を見直し適切な処分方法を再周知したり、コピー用紙の削減に向けた目標数値を掲示したりと、環境に負荷がかかっていないか、職員全員がSDGsに対する意識を向上していけるよう日々活動を行っております。



事務所のグリーン化

## 各事業所の紹介

### 森林事業部

#### 1. 木材生産増産について

今年1月の能登半島地震の影響で、能登地区での木材生産の見通しが立たない中、安定的な県産材供給のため、中能登地区以南で木材生産量をカバーすることが求められており、当組合にも増産要請がありました。その要請に対応すべく、現在、森林事業部一丸となり、施業地確保に努めています。組合員の皆さま、スギの皆伐再造林、間伐、広葉樹更新伐など、森林整備のご要望はございませんでしょうか?ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

#### 2. 労働安全対策について

作業現場には様々な危険があり、労働災害が起こらないための対策が必要です。作業計画の作成、リスクアセスメントの実施、日々のミーティングでのKY(危険予知)による事故防止等への意思統一、災害事例の確認、救命講習会の開催等を行っています。林業従事者が減少傾向にある今日、林業労働力の確保を図るため、安全で快適な職場づくりを目指し、補助事業を利用した安全衛生装備及び装置の導入や労働安全研修にも積極的に参加しています。引き続き、協力事業体へも労働災害情報や最新の安全装備品の紹介・普及を図りつつ、災害撲滅に向け取り組んでいきます。



実技講習

### 金沢・医王の里オートキャンプ場 ～森の中のんびりと～

「医王の里オートキャンプ場」は昭和52年の開設からもうすぐ50周年。アルバムの中には、親・子・孫と3世代の木漏れ日のような「きらり」とした思い出がいっぱいではないでしょうか。あの頃を思い出した方やこれからの思い出づくりのために金沢市街地から20分ほどのキャンプ場にいらして下さい。テントがなくても楽しめる「森の小屋・バンガロー」やしっかりとした屋根のある全天候型「バーベキュー場」がおすすめです。

只今、写真のような「トントウ」の絵付け体験がお子様にも大人気!お孫さんとぜひ、遊びにいらして下さい。

〒920-1111 石川県金沢市大菱池へ1-5合併6 TEL:076-229-1312



←金沢・医王山麓 医王の里オートキャンプ場 公式HP

### 庭園・園芸に関する総合センター 緑化木センター

#### リース部門

観葉植物・松盆栽・コチョウランなどをリースいたします。オフィス・店舗・ご自宅に緑の空間を演出してみませんか?



#### 造園・エクステリア部門

お庭のこと、何でもご相談ください。お庭の設計・施工、年間管理作業(剪定・雪つり・病害虫防除・施肥)等、当店スタッフが親切・丁寧・専門的にアドバイス致します。相談、見積無料です。お気軽にどうぞ!

#### 販売部門

花苗・果樹苗・盆栽などをJAほがらか村さんなどで販売のほか、各種イベント・出張教室などを開催しています。



#### 金沢市記念樹引換券もご利用できます。

循環型林業の取組の一環として、広葉樹の苗木生産を金沢市内の就労継続支援事業所の皆さんと一緒に取り組んでいます。昨年度実績は3,560本、今年度は20,000本の生産を目指しています。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。

詳しくは金沢森林組合のホームページなどをご覧ください。

### 宮野工場

昨年新たに、中温乾燥機(ヒルデブランド)30mが2台増設されました。これにより石川県産乾燥材の増産が出来るようになりました。

今年9月から宮野工場のリニューアルの為、操業が停止しますが、来春には自動製材システムが整備され、生産量は現在の5倍程度の加工が可能になる予定です。今後の県産材の安定供給と能登半島地震の復興にもより多くの県産材を供給することが出来るように金沢森林組合一丸となって頑張りたいと思います。

また機械の操業は止まりますが、事務所は営業しています。板材・杭木等の販売は出来ますので、ご利用ください。



木材中温乾燥機

- 金沢支所 / 〒920-1301 石川県金沢市永安町77番地 TEL:076-229-1131 FAX:076-229-1083
- 森本事業所 / 〒920-0172 石川県金沢市河原市町口61番地 TEL:076-257-2077 FAX:076-257-2344
- 河北支所 / 〒929-0307 石川県河北郡津幡町字種ラ48-1 TEL:076-288-3132 FAX:076-288-3133
- 宮野工場 / 〒929-0153 石川県金沢市宮野町リ440番地 TEL:076-257-8331 FAX:076-257-8377
- 緑化木センター / 〒920-1302 石川県金沢市末町12字148-1 TEL:076-229-2248 FAX:076-229-2347

金沢森林組合 公式HP▶



https://www.kanazawa-forest.or.jp

# 金沢森林組合だより vol.17



## ごあいさつ

代表理事組合長 山崎 浩一



まずは、今年の元旦に発生しました能登半島地震では、多くの尊い命が失われ、能登地方を中心に未曾有の被害が発生しました。改めて亡くなられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに被災された皆様方にお見舞い申し上げます。そして一日も早い復旧と復興をご祈念申し上げます。

私は、組合長に就任させていただき3年が経ちましたが、この間、組合事業を通じた社会貢献を経営理念に据え、年間3万5千㎡の素材生産を行う林産事業倍増計画と宮野工場のリニューアルを二大プロジェクトとして進めてまいりました。

いずれも概ね順調な進捗にあり、林産事業では現在2万6千㎡の生産体制が実現されております。また、宮野工場では昨年12月に木材乾燥機2基の設置が完了し、乾燥製品の安定供給に努め、自動製材システムにおいても令和6年度中に設置、試験運転を完了し令和7年度からの本格稼働を目指しております。

令和5年度を振り返りますと能登半島地震、河北郡市の豪雨災害と2度の激甚災に見舞われる大変な年でありました。幸い組合事業の運営には大きな支障はなく概ね計画どおりに進めることができました。業績面では3年連続で総取扱高が、過去最高額を更新し、令和5年度は14億9千5百万円余となりました。

また、課題となっております森林整備部門を中心に事業実施の多くを担っていただいております50社を超える協力事

業体の体質強化への支援につきましても、発注額の1%に相当する額を安全対策交付金として初めて交付させていただきました。

そして、近年の物価高に対応するため、職員の総所得の向上に努め、人件費総額で対前年比7%の増額を行いました。

更に、ペーパーレスを始めとした業務プロセスを根本から革新するDX化に取り組んでおり、今後、その進捗を加速していきたいと考えています。

こうした成果もひとえに県・市・町行政並びに関係機関の皆様のご指導とご支援、さらには組合員の皆様のご理解とご協力の賜物と改めて感謝を申し上げる次第であります。

今後につきましては、能登半島地震で系統組織においても甚大な被害が発生し、復旧は道半ばであります。しっかりと復旧・復興の取組に協力していくとともに系統組織の一員として、原木生産の確保など社会的要請に添えてまいります。引き続き、組合事業を通じた社会貢献を経営理念に、事業推進に向け役職員が一丸となって取り組んでまいります。関係各位の変わぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

### 「令和6年度通常総代会が開催されました」

令和6年度通常総代会が6月20日に石川県地場産業振興センター・新館コンベンションホールにて開催されました。県央農林事務所の佐南谷所長様をはじめ多数のご来賓をお迎えし、総代200名中176名(内議決権行使書面99名、委任状6名)の出席を得て、第1号議案から第9号議案について、いずれも原案通り可決・承認を頂きました。

### 剰余金の配当に関するお知らせ

第1号議案にて事業で得られた剰余金の一部を出資配当・利用配当することが承認されました。組合員の皆様には出資金残高計算書を送りましたので、ご確認下さい。

■出資配当金 … 払込出資金の2%

■利用配当 … 該当事業収入の2%(森林整備や造園工事など) 林産事業収入の5%

尚、配当金は全額出資金・出資予約預り金とさせていただきます。総代会で承認いただきましたので、ご了承願います。

### 新役員紹介

代表理事組合長	5区(津幡)	山崎 浩一
副組合長理事	2区(金沢中部)	出口 秋一
上席理事	3区(金沢北区)	出島 啓嗣
	4区(森本)	高嶋 久男
	6区(かほく)	林 良一
理事	1区(金沢南部)	前田 芳雄/多田 輝男/山田 一二
	2区(金沢中部)	上尾 慶一/浦 和明
	3区(金沢北部)	西 喜久男/木村 裕一
	4区(森本)	平木 吉一/藤本 光善/大長 行雄
	5区(津幡)	焼田 康彦/山本 秀二/大久保了介/森山 互
	6区(かほく)	瀬戸 佐登司
	全地区	河崎 仁志
代表監事	4区(森本)	菊知 亮
監事	1~3区(金沢)	北 幹夫
	6区(かほく)	山本 滋

# 令和6年度経営方針

・事業総収益……104,900万円(147,279万円総額会計の場合) ・税引前純利益……3,300万円

## 【運営基本方針 総括】

- 1) 能登半島地震の復旧・復興に協力していくとともに、森林組合系統組織の一員として、原木生産の確保など社会的要請に応えていく。
- 2) 森林資源が成熟期を迎え、利活用を通じ整備・保全を進める。また、公共建築物の地域産材による木造化や皆伐後の確実な再造林の働きかけを行う。
- 3) 森林所有者や行政、関係機関と連携を更に図り、施業地の取りまとめを推進し、長期的な経営林施業地の拡大を図る。
- 4) 工事管理や事務の効率化に一層努める。デジタル化による管理体制の構築と職場の5S活動を促進する。
- 5) 林業における様々な課題を解決する為に「行動力・考える力・チーム力」を発揮できる人材の育成と働く場の環境づくりに取り組む。
- 6) 従業員及び協力事業体の安全作業への意識向上と所得向上に取り組む。
- 7) 組合員や市町民、子どもたちに森林・林業や木質化、緑化の大切さを伝える。
- 8) 公的機関の利用範囲として、石川県、石川県林業公社、森林整備センター、津幡町、内灘町等から発注される森林整備事業等の入札に参加する。

## 【環境改善対策】

- ・勤怠管理とグループウェアのDX化導入
- ・オフィス空間の改善:グリーンディスプレイと木質化の推進
- ・残業の削減対策 改善策を検討
- ・改善提案の継続 1人1案運動
- ・人事評価制度のバージョンアップ
- ・内部監査実施

## 【安全衛生委員会】

- ・事故ゼロを目指す:現場と連携する「事故ZERO推進部会」でより深く安全改善策を提案する
- ・新人研修、中堅研修、管理者研修の開催、資格取得
- ・計画的な職員の採用、採用面接のレベルアップ
- ・5S活動推進、PC内の整理整頓

## 【心の健康委員会】

- ・委員会の開催毎月1回、メーリングリストでのお知らせ
- ・役員職員のコンプライアンス講習開催
- ・森づくり活動実施 1回

## 【SDGs委員会】

- ・活動の推進と毎月のチェックと改善



## 職員紹介



永年勤続者 宮野工場長 高野 裕之(勤続25年)

私が、森本森林組合の宮野工場に入社したのは、平成11年2月でした。その時は、防腐処理加工施設だけが操業していて、加工や製材施設は建設中でした。その年の4月に全ての工場が完成し石川県内で初めての森林組合木材加工施設が操業することとなりました。

操業当初は小径木の加工施設で海岸の防風柵や公園の階段工など円柱材を使った土木製品をメインに制作して、作った製品は全て防腐注入をして販売していました。ところが、徐々に公共事業での防腐注入製品が減り、ライバル会社が同じ森本地区にできたことで、なかなか製品が売れなくなり、長年にわたって赤字経営が続き大変苦勞をしました。

平成20年に、金沢市、森本、津幡、河北の4組合が合併し、工場の製品に建築部材が増える事になりましたが、製品を作っても売れない、頼まれても原木が無くて作れないなど、なかなか赤字経営から抜け出すことができませんでした。

しかし、金沢市の「木の文化都市」宣言や金沢市役所第二本庁舎に金沢産スギをふんだんに使ったカウンターや家具を収めることができ、金沢産スギの認知度が上がり徐々に金沢産材が使われるようになりました。

建築部材も、森林事業部の働きにより原木を安定的に入荷することができるようになり、取引先の注文に応えることができるようになりました。しかし、25年の歳月により加工機の老朽化で生産能力が低下したこともあり、令和5年度に、乾燥機2台の増設、令和6年度には自動製材システムを設置することになりました。今後は、生産能力が現状の5倍になり、3年後には年間11,000㎡の原木を加工する事ができるようになります。これからは取引先を増やし、供給量が増えても対応できるように、職員と一丸となり頑張っていきたいと思っております。



## report-1

### 森林事業部工事課の新設

各支所で培った知識や技術を最大限に発揮する為、今年度より金沢、河北支所の現場職員が一つになり工事課が新設されました。

成熟した森林の皆伐や間伐を主に、林産事業増産計画の目標達成に向け、労働災害防止を最重要課題とし、オペレーター、チェーンソーマンの育成を両立させ、多面性に優れたチームづくりを目指します。また、林業機械の稼働率を上げて生産性の向上とコストの低減に努め、良質な材の出荷を目指します。森林から消費者に木材をよりスムーズに届けるために宮野工場との連携を強化し、新たな木材貯木場も含め管理体制づくりも行い、一致団結し経営理念の実現に邁進します。



森林事業部工事課集合写真

## report-2

### 河北支所による木育活動

組合では木育活動を推進しています。木育は、子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みです。幼少期から木や森林とふれあい親しみを感じることで豊かな心を育てる目的で始めました。

組合としては、以前より管内の小中学校等で林業についての出前講座は行っていましたが、令和6年より組合職員3名が木育推進員として認定され、さらに木育活動に力をいれています。保育園では子どもはもちろん、保護者の方にも木工作と森林の話を通して木にふれてもらっています。学校林を所有している小学校では実際に、山の中で伐採見学や植樹体験を通して林業を身近に感じてもらっています。子どもたちには木育活動を通して、五感をフルに使って木を感じ木の良さを実感してもらうことで、大人になったときに生活の中で地域の木材を使うことを選んでもらえるよう活動して行きたいと思っています。



## お知らせ information

令和6年度より通常総代会提出議案関係書類が電子化となりました。

総代会の提出関係書類をホームページ上でお知らせすることとなりました。大変お手数ですが、ホームページより「組合員専用ページへ」から下記の情報でログイン後、内容をご確認くださいようお願いいたします。

●ホームページURL <https://www.kanazawa-forest.or.jp/>

冊子での議案書が必要な方は、大変お手数ですが、総務課(076-229-1131)までご連絡頂きますようお願いいたします。郵送させていただきます。

### 住所変更・名義変更の手続きはお済みですか？

森林の所有者を把握することは組合事業を進めるうえで重要な課題です。お住まいが変わった、組合員であった方が亡くなられた、譲渡等により山林を所有しなくなったなどの理由で、現在お届けいただいている組合員情報の内容に変更があった場合は、手続きが必要になりますので必ずご連絡をお願いいたします。組合から必要書類をお送りいたします。なお、届出用紙は金沢森林組合のホームページからダウンロードすることもできます。ご不明な点がございましたらお近くの事業所までお問い合わせください。

### 組合員の死亡による法定脱退について

亡くなられた組合員の相続人の方へ相続変更・脱退のお手続きの書類を送らせて頂いております。相続開始後10か月以上経過し、手続きがなされていない方へ法定脱退の書類を送らせて頂きます。持分払戻請求等の手続きにご協力をお願いいたします。



金沢森林組合公式HP▶